

- ①企業情報及びSCMプロジェクト
- ②アドバイザー支援内容





会社名 株式会社八代目儀兵衛

代表 橋本儀兵衛

事業内容 お米及び関連商品の販売・飲食店運営

設立 平成18年8月8日(創業1787年)

従業員数 112名 (パート・アルバイト含、うち社員44名)

米卸事業部

取扱量、個数 t (23年;全社)、 個口(23年;通販事業部実績)

使用倉庫坪数 約1,000坪(外部倉庫及び精米所を含む、内今回の対象セクションは約100坪)

お米×プロ

通販事業部 お米×贈る



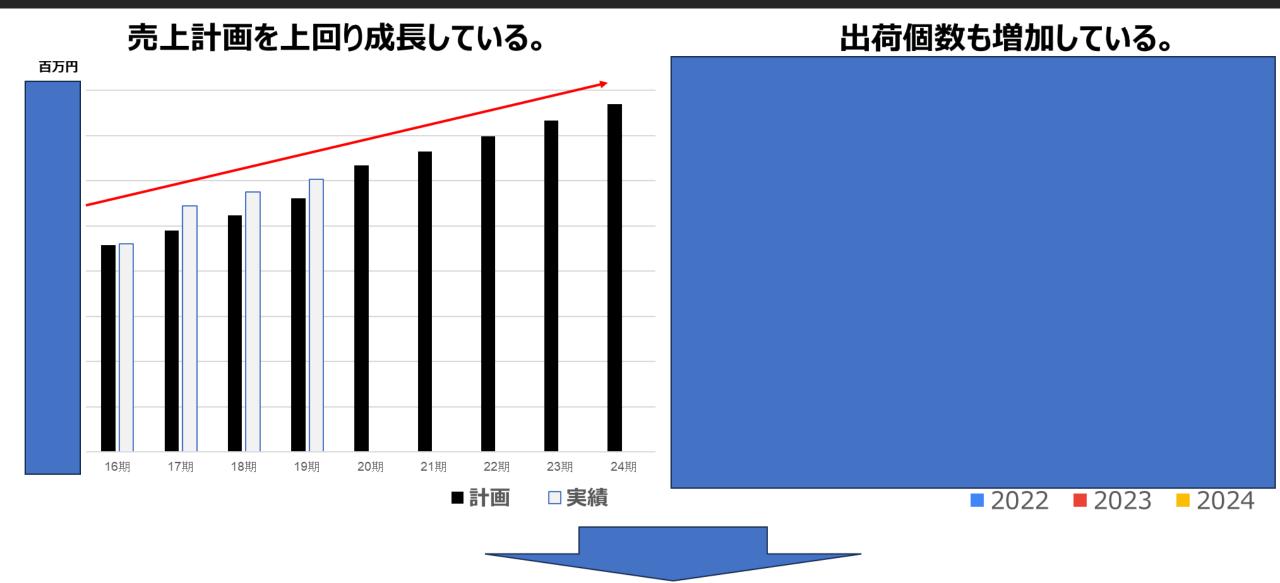






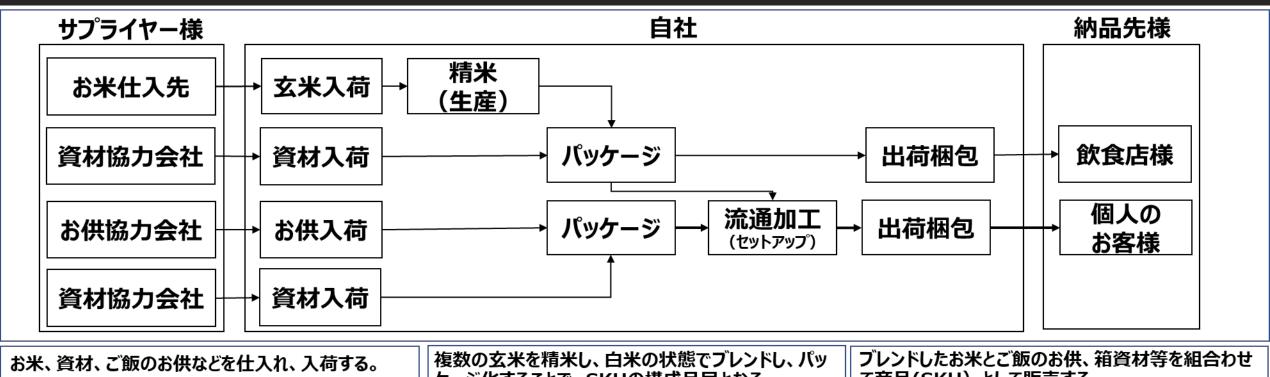






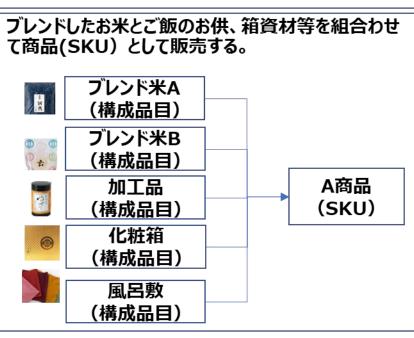
通販事業部の成長に合わせ、出荷能力を向上させる必要がある。

通販事業部及び米卸事業部のSC









出荷チーム

5名

プロジェクトの背景:

オペレーションを革新、リソースの最適化をする必要がある。

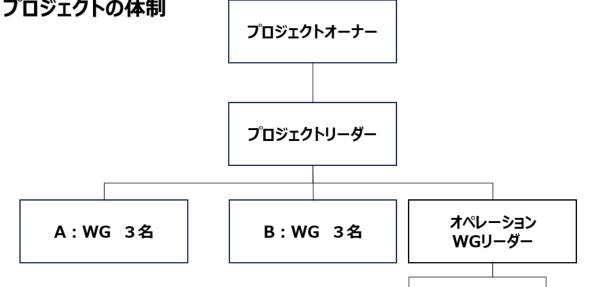
プロジェクトのGoal/目的:

サプライチェーン全体の効果性及び効率性を追究し、QCDの改善を図る

- ① 倉庫管理の新システムを導入し、在庫管理、生産計画の立案ができる環境を整える。
- ② 倉庫管理の新システムを導入し、トレーサビリティを実現する。
- ③ 原価情報及び各課の作業指数を日々配信/更新する。

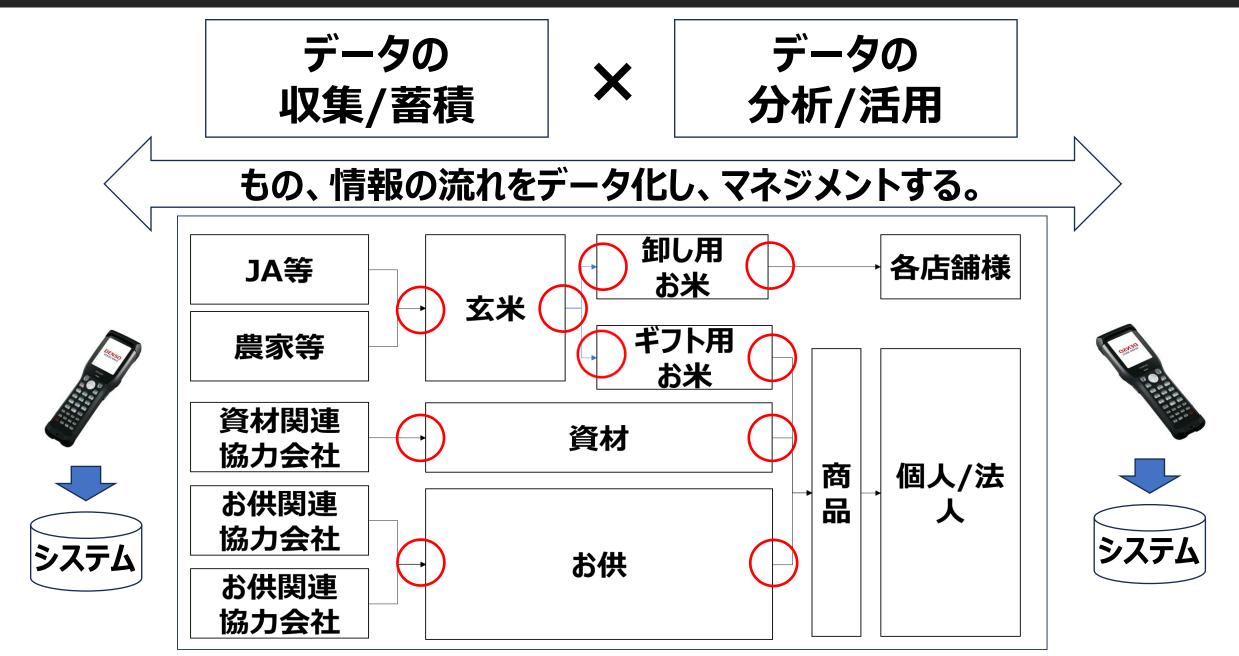
プロジェクト期日 2023年4月~2024年7月



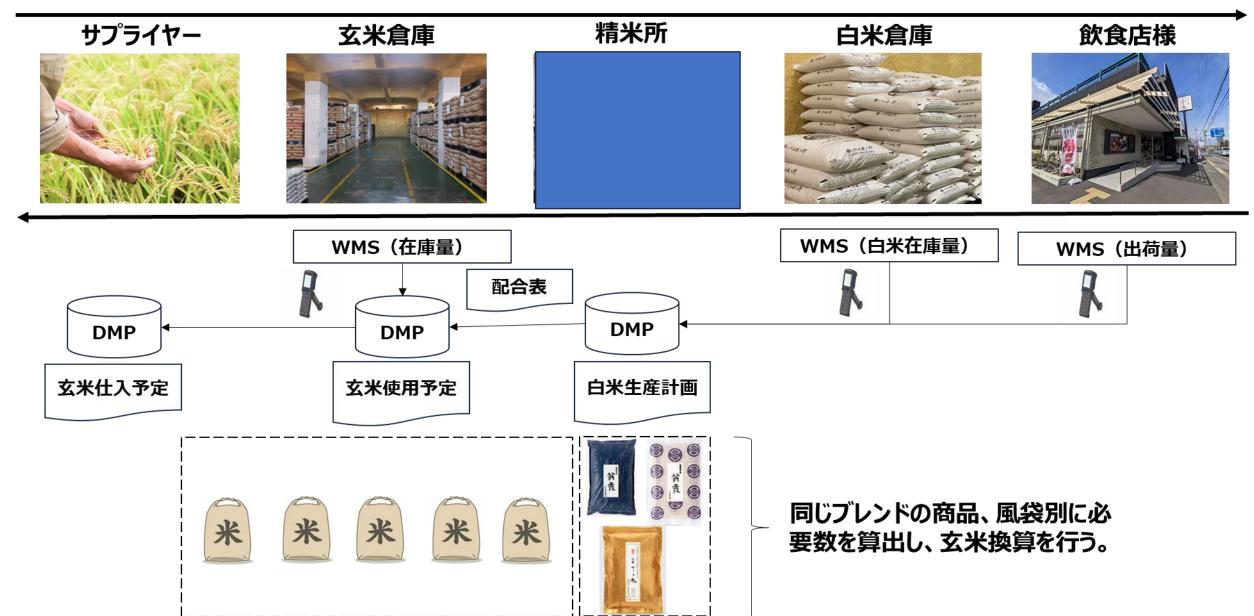


精米チーム

8名

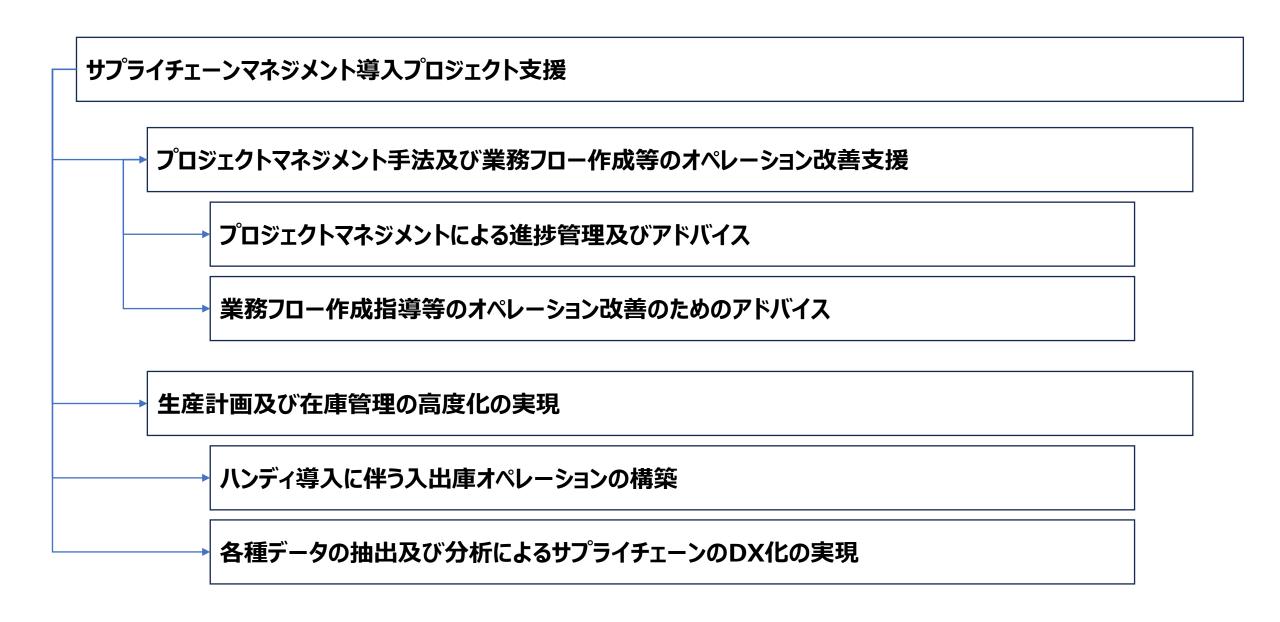


SCM革新



- ①企業情報及びSCMプロジェクト
- ②アドバイザー支援内容





プロジェクトマネジメントによる進捗管理及びアドバイス



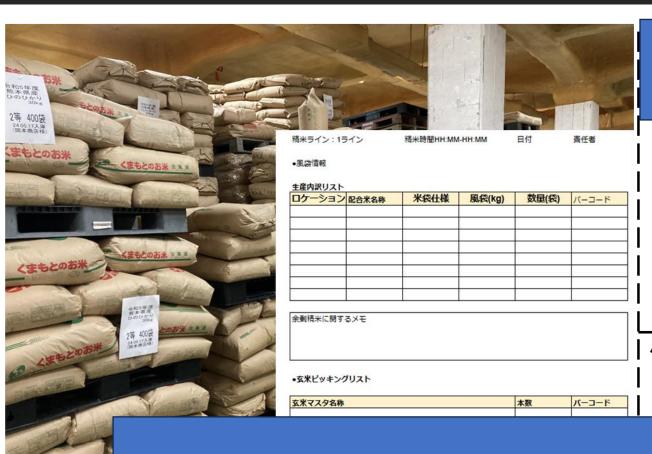






ハンディ導入に伴う入出庫オペレーションの構築

◎八代日儀兵衛



データベースの活用

)向上+時間短縮 ートから必要数の算 と基本的には不可能。



②データをベースに修正を加える方式を 採用する。

作業人員の人員配置の最適化につながる。

①各精米ラインに流すべきものが明確

1-+>Z

① 毎朝その

② 玄米倉庫

③ 作業者(

*玄米倉庫

担当者の勘と経験

システムの活用

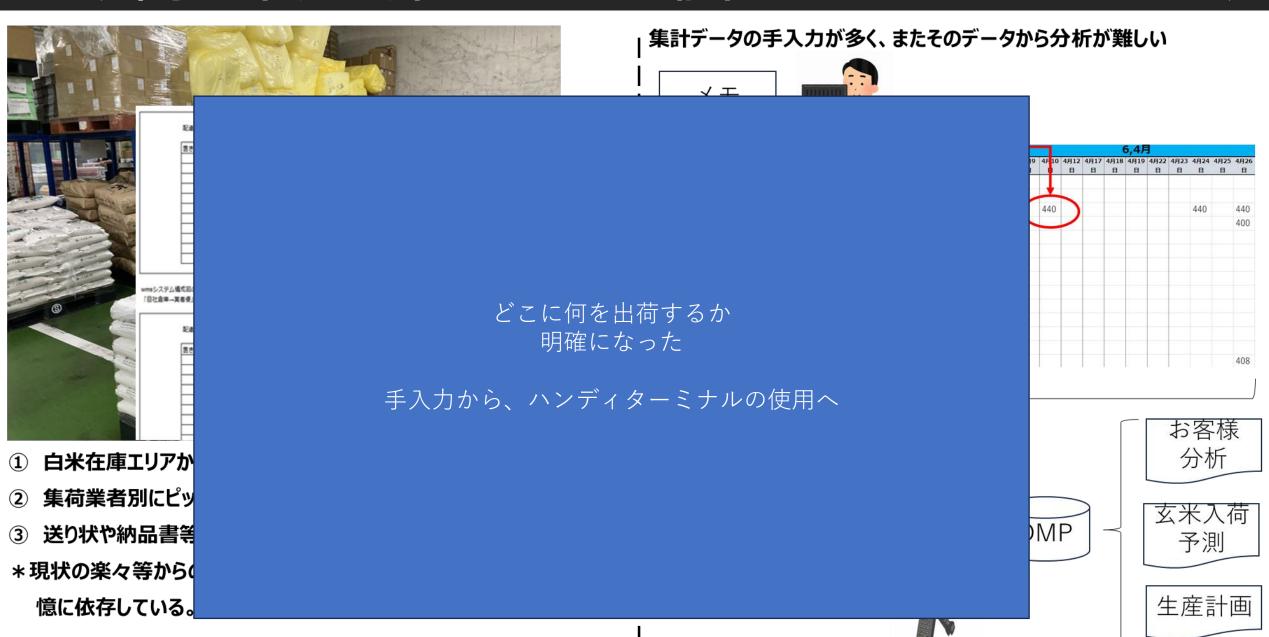
(成果:ピッキングリスト)

本数に応じた適切 「能になる。

ァテナンスの必要な 図れる。

* 白米在庫への入庫処理によって、日米の在庫数がわかるようになる。

適正に配置されたメンバーが必要本数を理解して、動く。 精米ライン:1ライン 精米時間HH:MM •風袋情報 ロケーション 配合米名称 米袋仕様 どこで何をすべきかが 余剰精米に関するメモ 明確になった をつくる。 玄米ピッキングリスト エリアへ在庫を探すことなく、 玄米マスタ名称 る きる作業に変わる。 指示がなくなる。 生産(精米)した 生産した白米をピ



各種データの抽出及び分析によるサプライチェーンのDX化の実現

